

平成26年度 さかい障がい児放課後連絡会

第3回 総会次第

平成26年6月13日（金）

10時～11時

堺市健康福祉プラザ大研修室にて

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

議長選出

3. 議事

(1) 平成25年度 活動報告 =連絡会・各委員会=

(2) 平成25年度 決算報告

(3) 平成25年度 会計監査報告

(4) 会則改正審議

(5) 平成26年度 役員選任

(6) 平成26年度 委員の選出

(7) 平成26年度 役員紹介

(8) 平成26年度 活動計画案審議 =連絡会・各委員会=

(9) 平成26年度 予算案審議

議長降壇

4. 閉会のことば

2013 年度 さかい障がい児放課後連絡会 活動報告

(連絡会・役員会)

1. 運営体制

役員

会長	井上 隆(Link みいけ)
副会長	林 吾郎(あすなろ授産所)
副会長	中島 貞子(グリーン・ピース八田西)
副会長	松岡 滋(えーゆークラブ)
副会長	宮崎 充弘(わくわくクラブ)
会計	谷山 芳之(ひまわりくらぶ)
監査	権代 和宏(キャン・デイ)
監査	和氣 務(児童デイサービス ほのか)
書記	榊 尚子(コスモス地域福祉活動センター えると)
書記	中村 綾子(ステップ)
事務局	松田 宜子(ぷらむの家)

2. 連絡会 58団体 (2014年2月末日現在)

ILIS CLUB 和泉	ILIS CLUB 鳳	青い鳥初芝教室	あすなろ授産所	えーゆークラブ	えーゆーハウス
えーゆールーム	FCクラブのあ	えると	かがやきハウス	キャン・デイ	キャン・ディア
くまのこ	グリーン・ピース	クレヨン	じらふ	ステップ	ちえりいくらぶ
つくしんぼくらぶ	と・らいずふれんず	のあ	はな	はなくらぶ	VIVO HOUSE アンツ
ひまわりくらぶ	ぱんだ	ほのか	ぼんた	ぼいんといちに	ふらっと
ホップ	ぼぶら園	みるくはうす	メロディ	ゆずっこくらぶ	りーふ
Link にわしろ	Link みいけ	ロバの子ハウス	わんぱくはうす平井園	わわ	わくわくクラブ
美原杉の子会	ぷらむの家	オリーブハウス	すまいるガーデン	スマイルクラブ	泉北わわ
たんぼぼ	ばあばといっしょ	VIVO HOUSE アンツ美原	びよんびよん教室	フローレットキッズ	ベガサス療養通所介護

ほんまちこどもデ イ	L u L u	ウィキッド	きらきら ハウス		
---------------	---------	-------	-------------	--	--

3. 活動内容

連絡会・役員会

開催日	参加 (連絡会=事業所数・役員会= 人数)	内容
2013年6月14日	45事業所	総会
6月27日	10名	役員会
7月12日	46事業所	連絡会
8月22日	7名	役員会
9月13日	50事業所	連絡会／行政委員会「Q&A 検討会」
9月26日	11名	役員会
10月9日	48事業所	連絡会／研修委員会講演会 「支援を必要とする子どもの性と生」
10月24日	11名	役員会
10月30日	16名	臨時役員会
11月8日	54事業所	連絡会／子ども家庭課より 「集団指導を受けて」
11月28日	11名	役員会
12月10日	53事業所	連絡会／事故虐待防止委員会 「アンケート振返り」
12月10日	12名	臨時役員会
2014年 1月9日	10名	役員会
1月14日	50事業所	連絡会／研究委員会 「事業所アンケート報告会」
2月14日	連絡会：積雪の為に中止	
2月27日	8名	役員会
3月14日		連絡会／各委員会にて話し合い
3月17日		役員会
4月11日		連絡会
4月24日		役員会
5月9日		連絡会

5月22日		役員会
-------	--	-----

2013年7月2日 運転者講習会開催
7月5日 堺市育成会福祉情報提供会へ参加
2014年1月12日 堺市より Q&A 説明会・虐待防止研修

4. 運営について

良かった点

多くの事業所が次々と設立していたが、殆どの事業所が連絡会への登録となった。
前年度と同じく、各支援学校の送迎問題について、行政、学校、連絡会の3者で連携をとりながら、問題解決に向けて進める事ができた。
連絡会の中で顔を合わせることで、事業所同志の連携ができた事や、分からない事を直接確認できた事が良かった
連絡会のホームページにて、緊急連絡への活用ができた。

5. 課題

役員会の新体制の執行に取り組む

羽曳野支援学校の体制作り

支援学校の送迎問題は、良い結果が出ている事も有るが、これからの問題事項でもある

専門委員の活動の充実をはかることで、障がい児の支援に生かされるようにしたい

2013年度(平成25年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告
 (事故虐待 委員会)

5. 運営体制

代表	VIVO HOUSE アンツ	澤井
副代表(担当副会長)	あすなろ授産所	林
書記	ほんまちこどもデイ	西
委員	キッズクラブはな	永野
委員	キッズはなくらぶ	山科
委員	わんぱくはうす平井園	藤原
委員	メロディ	河野
委員	くまのこ	茶菌
委員	たんぽぽ	永良
委員	フローレットキッズ	永井
委員	ハピスポ	友寄
委員	わわ	見田

6. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数(人数)	内容
6月14日	9事業所・9名	書記の選出、各事業所挨拶、事故・虐待情報の公表、通報、共有について
7月12日	7事業所・7名	①事故予防アンケートの作成、配布、回収、集計、発表について②アンケート質問内容作成担当③送迎中の事故について
9月13日	7事業所・7名	アンケート作成について、12月の担当委員会について
10月9日	6事業所・6名	アンケートの目的と配布、回収方法
12月10日	7事業所・7名	アンケート結果についての意見交換、事故予防アンケート振返りについて
3月14日	10事業所・10名	平成26年度役員の選任、平成25

		年度活動報告について、平成 26 年度活動計画について
--	--	--------------------------------

7. 運営について

- ・良かった点・・・事故予防アンケートを各事業所から取ることにより、いろいろなひやりはっと、事故などの出来事がわかり参考になった。
- ・工夫してきたこと・・・アンケートの項目を5つ作り、1項目を1事業所が担当することにより、特色のある設問を作ることができた。

4. 課題

- ・事故・虐待についてのマニュアル作成
事故発生時、行政への報告が各事業所によってバラつきがある。
どれぐらいの事故(車両事故、感染症、ケガ等)で報告義務が発生するのか各事業所によって
考え方が異なる。
行政と共に事故の報告マニュアルを作成し、各事業所統一できるようにする。
- ・新規事業所の参加
新規事業所の方々への声かけに配慮が欠けたところがあったので、マニュアル作成等において
て事故・虐待防止委員会全員で取り組めるよう役割分担していきます。

2013年度(平成25年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告
(行政委員会)

8. 運営体制

代表	青い鳥 (川尻)
副代表 (担当副会長)	えーゆーくらぶ (松岡)
書記	ふらっと (坂口)
委員	えーゆーハウス・ルーム (宮崎・住田)
委員	ぷらむ・ぽんだ・ぽんた (松田)
委員	アイリスクラブ鳳・和泉 (相原)
委員	ちえりいくらぶ (浅田)
委員	ゆずっこくらぶ (大利)
委員	キャンディ・キャンディア (山田・西川)
委員	ぼいんといちに (我堂・成田)
委員	すまいるガーデン (長田)

9. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数 (人数)	内容
7月12日	8事業所 (6名)	今年度の活動方針
10月9日	9事業所 (7名)	Q&Aの作成・集団指導・セミナーについて
11月8日	10事業所 (8名)	Q&Aの作成・今後の活動について
12月10日	10事業所 (8名)	実地指導対策の書類作成案
1月14日	10事業所 (10名)	個別支援計画・基本情報の雛形作成
3月14日	12事業所 (13名)	来年度活動計画・役員配置

10. 運営について

今年度は、Q&Aのベースが完成し回答をもらったのは成果です。(一部は回答待ち) 連絡会内で時間を取って頂き各事業所の疑問を収集できたことも収穫でありました。Q&A以外にも実地指導や監査対策・補助金情報など情報公開など行政委員会としての方向が明確化してきたので来年度は、各々の議題を並行しながら行政との連携を取り堺市の放課後等デイサービスの向上、相談窓口としての確立を図って行きたい。

5. 課題

- ①今後Q&Aの完成から情報公開・更新の手段や管理
- ②実地指導対策へ向けてのマニュアル作り
- ③基本情報・個別支援計画の内容必要項目の一覧表を完成させる（役所提出済み）
- ④行政機関（厚生労働省、全国放課後連絡会、補助金等情報）との情報収集・共有を目指す
- ⑤リスクマネジメント、雇用問題の事業所向け研修の企画・開催

25年度は、Q&A作成を重点的に進めてきたが新年度からは委員会内で担当業務を配置し運営を並行して行えるようにしていく。厚生労働省や大阪府、教育委員会などから発信される情報などをリアルタイムで発信出来る手段を模索していきたい。将来的には、事業所から出た行政に関する問題を助言出来る窓口のような体制を整えていきたい。

2013 年度(平成 25 年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告
 (研修 委員会)

11. 運営体制

代表	ホップ (佐々木)
副代表 (担当副会長)	グリーンピース八田西 (中島) ひまわりくらぶ (谷山) つくしんぼくらぶ (谷山)
書記	持ち回り
委員	リーふ (高田)
委員	運動療育クラブのあ (森谷)・運動療育F Cのあ (森谷)
委員	ぽぷら園 (竹田)
委員	かがやきハウス (澤田)・きらきらハウス (澤田)
委員	ほのか (山岡)
委員	クレヨン (根本)・L u L u (根本)
委員	ぱんだ (板野)
委員	泉北わわ (中西)
委員	オリーブハウス (中谷)
委員	ホップ (東内)

12. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数 (人数)	内容
5 月 14 日	代表、副代表にて話し合い	・第 1 回研修会の事前打ち合わせ・役割分担
6 月 14 日	10 事業所・11 名	・9 月研修会について・第 2 回研修役割分担
9 月 13 日	8 事業所・12 名	・第 3 回研修会の確認・役割分担
11 月 1 日	代表、副代表にて話し合い	・第 4 回グループディスカッション内容
11 月 8 日	10 事業所・10 名	・第 4 回研修内容について・役割分担
12 月 13 日	5 グループ司会者会議 5 事業所・5 名	・各グループの記録から共通意見集約
1 月 14 日	9 事業所・11 名	・第 5 回研修内容について・役割分担
2 月 21 日	5 グループ司会者会議 5 事業所・5	・各グループの記録から共通意

	名	見集約
3月14日	15事業所・16名	・年間まとめ、26年度に向けて

研修（5回実施）

研修名	開催日	場所	参加者
・障がいや発達の姿から見えてくる基本的な話 ・具体的な事例を通して学ぶ	平成25年5月28日 百舌鳥支援学校 金井孝明氏	堺市福祉会館	54名
・心の問題に踏み込んで ・具体的な事例を通して学ぶ	平成25年6月28日 百舌鳥支援学校 金井孝明氏	堺市福祉会館	31事業所 55名
支援の必要な子どもの性と生～思春期における第2次性徴の捉え方と性教育～	平成25年10月9日 大阪発達支援センターぽろ 千住真理子氏	健康福祉プラザ 大研修室	95名 役員8名
児童発達管理責任者対象グループディスカッション ・動けない子の支援 ・屋外活動の支援	平成25年12月3日 ⑤グループ	健康福祉プラザ 大研修室	39事業所 49名
児童発達管理責任者及び支援者対象グループディスカッション ・ヒヤリハット実態交流 ・職員間での情報共有や伝達方法の工夫	平成26年2月7日 ⑤グループ	健康福祉プラザ 大研修室	34事業所 50名

3. 運営について

今年度の活動方針は4つの柱を立ててスタートしました。①の現場に即した研修として、2回グループディスカッションに取り組みました。テーマもみんなのニーズから決定し、各事業所がテーマについてどのように取り組んでいるのかを交流し学び合いました。基本的には児童発達支援管理責任者が中心の参加でしたが直接支援者の参加もあり、「大変勉強になった」「早速持って帰り、役立てる」等多くの声があり、来年度へもつなげていきたい研修内容でした。②については、連絡会全体会議の中に研修が組み入れられたことで、年間を通して多くの研修が行われ、全事業所のスキルアップにつながったと思います。③については発達や障害の理解につ

いて 2 回連続研修を行ったことで、多くの事業所から「子どもの見方が変わった」「深く理解することで支援の仕方が学べた」等大変好評でした。④の新人育成については具体的には取り組めませんでした、今後の課題にしたいと思います。概ね方針に基づいて実施できたことと今年度は役割分担が毎回きちんと果たされ役員全体で研修が進められたことは良かったと評価しています。最後の研修委員会で全員が「委員になってしんどかったけれど勉強になり良かった」「来年度も引き続き研修委員会で頑張る」と発言されたことが何よりも大きな成果であったと感じています。只DVD制作やグループディスカッションの司会者は、2 度集まるなど役割によっては少し負担が大きかったと思いますので、今後はこのような係りも交代でできるようにしていきたいと思います。

6. 課題

1 年目は 32 箇所だった事業所が現在は 58 団体になり、まだ増えていく勢いです。研修内容についても毎回アンケートで様々なニーズがあり来年度も絞っていくのは難しいな一と思います。事業所数が増えれば増えるほど、利用者にとっては選べる箇所が増える訳で、その支援内容が問われていくことでしょう。放課後デイサービスを利用する子ども達が豊かな時間を過ごせるよう、支援力がアップするような研修、次々開所する事業所に今までの研修が伝えられたり、療育の事なら何でも研修委員会に聞いたらいよいよと言えるような体制や資料作りもしていきたいと考えています。

2013年度(平成25年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告
 (研究 委員会)

13. 運営体制

代表	と・らいず ふれんず 林
副代表(担当副会長)	わくわくクラブ 宮崎
書記	※その都度持ち回り
委員	えると 榊
委員	Link みいけ 恒吉
委員	Link にわしろ 堀田
委員	じらふ泉北 別所
委員	ロバの子ハウス 越智
委員	ぴーすの児童デイぽんた 松本
委員	ペガサス療養通所介護 島
委員	ばあばとっしょ 小畑
委員	ぴよんぴよん教室
委員	smail club ※3月より

14. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数(人数)	内容
4月26日 @かざみどりはうす	7事業所(わくわくクラブ、えると、ロバの子ハウス、Linkみいけ、Linkにわしろ、じらふ、ふれんず) 6名	・事業所向けアンケート内容について
5月10日 @福祉プラザ	4事業所(ふれんず、Linkにわしろ、じらふ、ロバの子ハウス)	①事業所向けアンケート内容確認 ②配布の段取り ③家族向けアンケート配布・回収方法について
5月29日 @Linkにわしろ	4事業所(ふれんず、Linkにわしろ、ロバの子ハウス Linkみいけ)	①事業所向けアンケートの完成 ②家族向けアンケート内容

6月19日 @堺市子	5事業所（ふれんず、えると、ロバの子はうす、Linkにわしろ Link みいけ）	子ども家庭課にアンケート実施の相談
7月18日 @かざみどりはうす	3事業所（わくわくクラブ、ロバの子はうす、ふれんず）	
10月23日 @えると	5事業所（えると、ふれんず、Link みいけ、Link にわしろ、ロバの子はうす 5名	①事業所向けアンケート結果 ②家族向けアンケート配布・回収方法について
11月8日 @福祉プラザ	5事業所（ふれんず、Link にわしろ、じらふ別所・松江、ロバの子ハウス(Link みいけ) 6名	①1月担当月のすることについて ②家族向けアンケート 民間の団体を調べる
12月10日 @福祉プラザ	4事業所（ふれんず、じらふ別所・松江、ロバの子ハウス Link みいけ) 5名	①家族向けアンケート配布方法(↓どれにするか考える) ・支援学級の担当の先生宛に直接送る ・『こだまぼっこ』さんに協力していただく ・堺市教職員組合に協力していただく ②アンケートのページ数を考える ③1月の研究委員会担当のグループディスカッションのチーム分け確認
12月20日 @かざみどりはうす	5事業所（わくわくくらぶ、ロバの子ハウス、えると（榊、高橋）、じらふ（別所、松江）、ふれんず 7名	①家族向けアンケートについて 回答用紙作成、依頼文確認 ②グループディスカッション担当決め
1月14日 @福祉プラザ	9事業所（わくわくくらぶ、えると、じらふ（別所、松江）、ペガサス、ふれんず、ぽんた、Link みいけ、Link にわしろ、ロバの子ハウス 10名	・グループディスカッション最終打ち合わせ
2月4日 @えると	5事業所（ふれんず、Link にわしろ、じらふ、ロバの子ハウス、ペガサス 5名	家族向けアンケート発送作業
2月13日 なかもず	5事業所（ふれんず、Link にわしろ、ロバの子ハウス、えると、	家族向けアンケート残念会

	じらふ(別所・松江) 6名	
3月14日 @福祉プラザ	10事業所(わくわくクラブ、えると、Link みいけ、Link にわしろ、ぽんた、ロバの子はうす、じらふ、スマイルクラブ、ペガサス、ふれんず、10名)	①家族向けアンケートお詫び状について ②2013年度活動報告について ③2014年度活動計画について

15. 運営について

●大変だったこと

各々の業務があり、委員会の日程調整をするのが大変だった。

また日程を調整しても参加できる人数が少なく、しかし研究委員会の目的の規模は大きく、困難であった。

●よかったこと

事業所向けのアンケートを実施したこと。

新たな課題が見えた。

結果をふまえてグループディスカッションができ、色々な事業所の考えや取組みを聞いたり、同じ思いを感じることができた。

知りたいポイントを絞って、次年度もアンケートを実施したい。

●工夫したこと

作業を役割分担して全員が何かを担うことで、みんなの意識が高まり、積極性が出たように思う。また、交流会をしたことで親睦が深まり、より一層会議で意見を出しやすい関係作りができた。

集まる場所を委員会の事業所の場所をお借りしていろいろな場所で開催することにより、同時に見学もでき、その事業所のことをより知ることができたことがよかった。

7. 課題

事業所向けアンケートの結果をもとにグループディスカッションをし、取り組みたいことや理想はたくさんあるが、今現状の制度の中ではなかなか取り組めない事もあることが見えてきた。特に人材育成については悩んでいる事業所が多かったように思う。雇用時間内で、スキルアップのための時間がうまく取れず労働時間外で行ったり、任意で行っているためパートの方の育成に課題を感じている事業所が多かった。

2013年度(平成25年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告
(広報) 委員会

16. 運営体制

代表	みるくはうす (藤原)
副代表	ステップ (中村)
書記	
委員	オリーブ (中谷)
委員	ウィキッド (山本)
委員	
委員	

17. 活動内容

委員会

開催日	参加者
2013年2月20日	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)
2013年3月2日	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)
2013年3月12日	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)
2013年4月12日	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)
2013年5月7日	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)
2013年6月14日	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)、オリーブハウス、井上会長 (オブザーバー)
その後随時	みるくはうす (藤原)、ステップ (中村)

18. 運営について

広報準備室を開設し、非公認の活動を通して準備を行った。広報の目的、手段、予算確保、具体的工程の作成・実行。いずれも役員会に出席させていただき、綿密な打ち合わせと助言が不可欠であった。実務の遂行において便宜を賜り、大変感謝しております。

8. 課題

ホームページ作成が最終必達目標であったので、最低限はクリアできた。今後、放課後連絡会における広報の意義・使命・具体的に求められる事を役員会にて明確にし、説明義務と手順を怠らず、適切に発信してゆくことが責任であると考えています。

さかい障がい児放課後連絡会 会則

第1条（名称）

本会は、「さかい障がい児放課後連絡会」という。

第2条（所在地）

本会の所在地は、代表の事業所におく。ただし連絡先は事務局担当の事業所住所・電話番号等を利用する。

第3条（活動目的）

堺市に在住する障がい児の放課後や休日等の支援活動を行うグループや事業所等が、連携・協力・協働することにより、各々の活動や事業の質の向上を行い安定したサービス等の提供を行うこと、及びそれら活動や連携等を行う中で、堺市に必要な『障がい児のための社会資源等』を研究し、提言や実現につなげることを目的とする。

第4条（活動内容）

本会は以下のような活動を行う。

- ①情報交換、共有
- ②親睦
- ③事業所並びに支援者の質の向上
- ④コンプライアンス及びリスクマネジメントの理解と向上
- ⑤必要な社会資源の研究、及びその提言や実現
- ⑥その他、障がい児の生活向上につながる活動

第5条（会員）

会員は、障がい児の放課後や休日の生活を支援している事業所やグループなどで、本会の目的に賛同し、所定の手続きを経て入会をした者をいう。

第6条（会費）

会費は、年3,000円とする。既納の会費はいかなる事由があっても返還しない。

第7条（入会および退会）

- （1）本会に入会しようとする者は、入会申込書に第6条記載の年会費を添えて申し込む。
- （2）退会する者は、代表へその旨を書面で提出する。なお定例総会において会員継続が確認できない会員は、退会とみなす。

第8条（役員）

（1）本会に次の役員をおく。

会長	1名	会長は本会を統括し代表する。
副会長	1名以上	副会長は会長を補佐する。
事務局	若干名	書記、広報、総務、会員管理などの業務を行う。
会計	1名	会計は本会の会計を管理する。
監査	2名	会計や活動内容を監査する。

（2）本会は次の委員会をおく。各委員会は代表及び副代表と若干名の委員で構成する。

- ① 事故・虐待防止委員会 活動や事業における事故予防及び虐待防止についての検討や啓発を行う。
- ② 研修委員会 指導員・スタッフ、管理者、事業所等のスキルアップを行う研修を企画・実施する。
- ③ 行政及び渉外委員会 行政及び関係機関等の外部との関係構築、情報収集等を担当する。
- ④ 研究委員会 本会の目的や活動にとって必要な研究を行い、啓発する。

（3）役員は総会で選任する。役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（4）委員は各事業の意向をふまえて決定し、その中で代表、副代表を選任する。委員、代表、副代表とともに任期は1年とし、再任は妨げない。

第9条（会議）

（1）本会の議決を行う機関として、総会をおく。総会は会員で構成し、多数決をもって議事を決する。総会は会長が召集するものとし、毎年1回以上開催し、次の事項を議決する。

- ① 年度事業報告及び決算
- ② 年度事業計画及び予算
- ③ 役員の選任
- ④ 本会の解散、合併に関する事項
- ⑤ その他、本会の運営に関する重要事項

（2）本会は活動実行における管理を行うため役員会をおく。役員会は会長が召集し、総会に付託すべき事項や総会の議決執行に関する事項及びこの会の日常の運営に関する事項を話し合い、実行する。

（3）本会は活動実行をする委員会をおく。委員会は委員代表が招集し、担当するテーマに即した活動を話し合い、必要に応じた活動を行い、その計画や報告を、事務局を通じ連絡会に伝える。

（4）本会は会員の情報交換や連絡及び親睦のため全体連絡会をおく。全体連絡会は事務局が招集し、活動全体の報告や情報交換及び話し合いを行う。

（5）本会は役員会と委員会の連携のために、代表者会議を開く。代表者会議は事務局が招集し、

役員と委員会が互いに報告や情報交換及び話し合いを行う。

第10条（会計）

- （1）本会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
- （2）本会の経費は第6条の会費及びその他の収入をもって充当する。
- （3）本会の事業報告及び決算は、会計担当者が作成し、その年度末の会計報告とともに監査役
の監査を受け、毎会計年度終了後3ヶ月以内に総会の承認を得なければならない。

第11条（会則の変更）

本会の会則を変更する場合は、総会の決議を得なければならない。

第12条（付則）

会則は、平成24年6月1日をもって施行する。

会則は、平成25年6月1日をもって施行する。

会則は、平成26年6月1日をもって施行する。

平成25年度 さかい障がい児放課後連絡会 会計決算報告書

(自 平成25年4月1日 ～ 至 平成26年3月31日)

(単位：円)

収入の部

項目	平成25年度 予算額	平成25年度 決算額	備考
前年度繰越金	96,281	96,281	
年会費	150,000	174,000	1団体：3,000円×58団体
5月度研修(いじめ予防)参加費	35,000	36,000	1名：500円×72名
7月度研修(運転者講習)参加費	35,000	29,000	1名：500円×58名
広報委員会・ホームページ作成時協賛費	120,000	141,000	1団体：3,000円×47団体
預金通帳利息	10	44	
研修委員会・研修DVD	0	3,600	1団体：600円×6団体
研修委員会・10月研修参加費	0	45,000	1名：500円×90名
福祉プラザ利用料・重複支払返金分	0	2,550	
福利厚生加入報奨金(SCCサービスセンター)	0	9,000	1名：1,000円×9名
合計	436,291	536,475	

支出の部

項目	平成25年度 予算額	平成25年度 決算額	差引額	備考	
事務費	事務消耗品費	5,000	1,674	3,326	領収書隠り・コピー用紙・印鑑
	資料作成費	5,000	14,355	-9,355	印刷代
	会場費	20,000	32,185	-12,185	マイク・プロジェクター 使用料。冷暖房代等含む
	研修講師費	70,000	70,100	-100	講師費・振込手数料
活動費	事故・虐待防止委員会	10,000	0	10,000	
	研修委員会	19,000	29,525	-10,525	会場費・講師謝礼・印刷代・DVD代等
	行政及び渉外委員会	19,000	0	19,000	
	研究委員会	28,600	32,819	5,781	アンケート封筒代・印刷代・メール便代
	広報委員会	110,000	110,100	-100	HP作成費・HP管理費・振込手数料
合計	286,600	280,758	5,842		
収入総計	536,475	280,758	255,717	残金は次年度に繰り越す	

上記の通り決算しましたので報告いたします。

平成26年6月13日

さかい障がい児放課後連絡会会計 一般社団法人しゅいくはんず 谷山 芳之



上記について、監査簿、証拠書類等を慎重に監査した結果、厳正に執行され、かつ正確である事を認めます。

平成26年6月13日

さかい障がい児放課後連絡会会計監査 有限会社 栄友社 和氣 務



平成26年度 さかい障がい児放課後連絡会 役員名簿 (案)

	氏名	法人名・会社名	事業所名
会長	井上 隆	社会福祉法人 堺あすなる会	Linkみいけ
副会長	谷山 芳之	一般社団法人 しえいくはんず	ひまわりくらぶ
事務局	榑 尚子	社会福祉法人 コスモス	コスモス地域福祉活動センターえと
	藤原 惣一	株式会社 GVPマネージメント	みるくはうす
	松本 尚子	特定非営利活動法人 ひーす	余暇支援ぶらむの家
	高田 雅代	一般社団法人 けあ・すぶりんぐ	リーふぶらす
	中島 貞子	生活協同組合 エスコープ大阪	グリーン・ピース八田西
会計	山岡 環	有限会社 栄友社	児童デイサービスほのか
	川尻 良典	社会福祉法人 こころの窓	青い鳥初芝教室

2014年(平成26年)度 さかい障がい児放課後連絡会 活動計画

(連絡会・役員会)

1、活動方針

①情報交換・共有

(特に各委員会代表と役員が一同に集まる会を隔月で実施する)

②事業所や支援者の親睦と質の向上

(全体連絡会は2カ月に1回に減らすが、連絡事項の時間を減らし、各委員会主体で現場支援者に有意義な情報・研修を提供する)

③コンプライアンス及びリスクマネジメントの理解と向上

④必要な社会資源の研究及びその提言や実現

⑤その他、障がい児の生活向上につながる活動

2、運営体制

会長	井上 隆	L i n kみいけ
副会長	谷山 芳之	ひまわりくらぶ
事務局(書記)	榊 尚子	コスモス地域福祉活動センターえると
事務局(総務)	高田 雅代	りーふぷらす
事務局(広報)	藤原 惣一	みるくはうす
事務局(会員管理)	松本 尚子	余暇支援 ふらむの家
会計	中島貞子	グリーン・ピース八田西
監査	山岡 環	児童デイサービスほのか
監査	川尻 良典	青い鳥初芝教室

3、年間計画案

●全体連絡会(2カ月に1回)

7月・10月・12月・2月・4月 (基本は、第2週 金曜日 10時~12時)

●代表者会議(2カ月に1回)

9月・11月・1月・3月・5月 (基本は、第2週 金曜日 10時~12時)

●役員会(毎月1回)

6月~5月 (基本は、第4週 木曜日 10時~12時)

2014年(平成26年)度 さかい障がい児放課後連絡会 活動計画

(事故・虐待防止委員会)

1、活動方針

- ・昨年度実施したアンケートを踏まえて、特に問題視すべきはマニュアルが整備されていないというところではないだろうか。問題定義ばかりでなく、放課後連絡会を通じ、統一したマニュアルが必要と思われる。
- ・本年度はこれを目的とし連絡会・行政・関係団体の協力を得ながら、統一したマニュアル整備を行いたいと思います。

2、運営体制

委員長	フローレットキッズ	(永井)
副委員長	ハピスポ	(友寄)
書記	キッズクラブ はな	(永野)
会計	わんぱくハウス平井園	(藤原)
委員	VIVO HOUSE アンツ	(澤井)
委員	あすなろ授産所	(林)
委員	ほんまちこどもデイ	(西)
委員	キッズはなくらぶ	(山科)
委員	メロディ	(河野)
委員	くまのこ	(茶藪)
委員	たんぽぽ	(永良)
委員	VIVO HOUSE マリク	(盛)
委員	Link ふかい	(恒吉)
委員	さくらくらぶ	(藤本)
委員	りんりん	(林)

3、年間計画案

- ・委員を事故・虐待班に分け、マニュアルに必要な情報などを関係機関等の指導を得ながら収集し、2ヶ月に1度の定期会議で取りまとめを行っていく。
- ・試案完成後、子ども家庭課の協力を得ながら、放課後連絡会の統一マニュアルに仕上げていく。

2014年(平成26年)度 さかい障がい児放課後連絡会 活動計画

(行政委員会)

1、活動方針

- ①Q&A：最終的な形式の完成と今後の情報更新・公開体制を整える
- ②実地指導：マニュアル作り、事業所からの相談受付体制の基盤作り
- ③行政機関、専門機関：行政委員会での情報収集・各事業所への情報公開
- ④研修：リスクマネジメント等の研修を開催

2、運営体制

代表	えーゆークラブ (松岡)
副代表 (担当副会長)	えーゆーハウス (宮崎)
書記	えーゆールーム (住田)・すまいるガーデン (長田)
委員	みるくはうす (藤原)
委員	ゆずっこくらぶ (大和)
委員	青い鳥初芝教室 (川尻)
委員	ステップ (藤井)
委員	ふらっと (坂口)
委員	VIVO HOUSE アンツ美原 (笠松)
委員	ティコティコ (國信)
委員	アイリスクラブ鳳 (山田)
委員	ちえりいくらぶ (浅田)
委員	ウイキット (山本)
委員	ぷらむの家 (松本)

3、年間計画案

7月	今後のQ&A管理・更新について
10月	行政機関との情報収集、共有について
12月	実地指導マニュアル作成方針検討
2月	リスクマネジメントへの研修開催企画
4月	振り返り・来年度活動計画案

2013年度(平成25年度) さかい障がい児放課後連絡会 活動報告
 (研修 委員会)

19. 運営体制

代表	ホップ (佐々木)
副代表 (担当副会長)	グリーンピース八田西 (中島) ひまわりくらぶ (谷山) つくしんぼくらぶ (谷山)
書記	持ち回り
委員	リーふ (高田)
委員	運動療育クラブのあ (森谷)・運動療育FCのあ (森谷)
委員	ぽぷら園 (竹田)
委員	かがやきハウス (澤田)・きらきらハウス (澤田)
委員	ほのか (山岡)
委員	クレヨン (根本)・L u L u (根本)
委員	ぱんだ (板野)
委員	泉北わわ (中西)
委員	オリーブハウス (中谷)
委員	ホップ (東内)

20. 活動内容

委員会

開催日	参加事業所数 (人数)	内容
5月14日	代表、副代表にて話し合い	・第1回研修会の事前打ち合わせ・役割分担
6月14日	10事業所・11名	・9月研修会について・第2回研修役割分担
9月13日	8事業所・12名	・第3回研修会の確認・役割分担
11月1日	代表、副代表にて話し合い	・第4回グループディスカッション内容
11月8日	10事業所・10名	・第4回研修内容について・役割分担
12月13日	5グループ司会者会議5事業所・5名	・各グループの記録から共通意見集約
1月14日	9事業所・11名	・第5回研修内容について・役割分担
2月21日	5グループ司会者会議5事業所・5	・各グループの記録から共通意

	名	見集約
3月14日	15事業所・16名	・年間まとめ、26年度に向けて

研修（5回実施）

研修名	開催日	場所	参加者
・障がいや発達の姿から見えてくる基本的な話 ・具体的な事例を通して学ぶ	平成25年5月28日 百舌鳥支援学校 金井孝明氏	堺市福祉会館	54名
・心の問題に踏み込んで ・具体的な事例を通して学ぶ	平成25年6月28日 百舌鳥支援学校 金井孝明氏	堺市福祉会館	31事業所 55名
支援の必要な子どもの性と生～思春期における第2次性徴の捉え方と性教育～	平成25年10月9日 大阪発達支援センターぼぽろ 千住真理子氏	健康福祉プラザ 大研修室	95名 役員8名
児童発達管理責任者対象グループディスカッション ・動けない子の支援 ・屋外活動の支援	平成25年12月3日 ⑤グループ	健康福祉プラザ 大研修室	39事業所 49名
児童発達管理責任者及び支援者対象グループディスカッション ・ヒヤリハット実態交流 ・職員間での情報共有や伝達方法の工夫	平成26年2月7日 ⑤グループ	健康福祉プラザ 大研修室	34事業所 50名

4. 運営について

今年度の活動方針は4つの柱を立ててスタートしました。①の現場に即した研修として、2回グループディスカッションに取り組みました。テーマもみんなのニーズから決定し、各事業所がテーマについてどのように取り組んでいるのかを交流し学び合いました。基本的には児童発達支援管理責任者が中心の参加でしたが直接支援者の参加もあり、「大変勉強になった」「早速持って帰り、役立てる」等多くの声があり、来年度へもつなげていきたい研修内容でした。②については、連絡会全体会議の中に研修が組み入れられたことで、年間を通して多くの研修が行われ、全事業所のスキルアップにつながったと思います。③については発達や障害の理解につ

いて 2 回連続研修を行ったことで、多くの事業所から「子どもの見方が変わった」「深く理解することで支援の仕方が学べた」等大変好評でした。④の新人育成については具体的には取り組めませんでした、今後の課題にしたいと思います。概ね方針に基づいて実施できたことと今年度は役割分担が毎回きちんと果たされ役員全体で研修が進められたことは良かったと評価しています。最後の研修委員会で全員が「委員になってしんどかったけれど勉強になり良かった」「来年度も引き続き研修委員会で頑張る」と発言されたことが何よりも大きな成果であったと感じています。只DVD制作やグループディスカッションの司会者は、2 度集まるなど役割によっては少し負担が大きかったと思いますので、今後はこのような係りも交代でできるようにしていきたいと思います。

9. 課題

1 年目は 32 箇所だった事業所が現在は 58 団体になり、まだ増えていく勢いです。研修内容についても毎回アンケートで様々なニーズがあり来年度も絞っていくのは難しいなーと思います。事業所数が増えれば増えるほど、利用者にとっては選べる箇所が増える訳で、その支援内容が問われていくことでしょう。放課後デイサービスを利用する子ども達が豊かな時間を過ごせるよう、支援力がアップするような研修、次々開所する事業所に今までの研修が伝えられたり、療育の事なら何でも研修委員会に聞いたらいよいよと言えるような体制や資料作りもしていきたいと考えています。

2014年(平成26年)度 さかい障がい児放課後連絡会 活動計画

(研究委員会)

1、活動方針

利用者・その家族にアンケートを実施し実態を知り、今様々なサービスがある中でさらにどのようなサービス・制度が必要かを考え、また、事業所としてどのようなことに課題を感じているかを洗い出し、新たな施策の提言をしていきたい。

- ① 家族の実態を知るアンケート作成・実施
- ② 事業所向けアンケート作成・実施
- ③ データ収集、分析
- ④ その結果をもとに、他の委員会と協同したほうがよければコラボ

2、運営体制

代表	と・らいず ふれんず (林)
副代表(担当副会長)	じらふ泉北 (別所)
書記	※その都度持ち回り
委員	えると (高橋)
委員	Link みいけ (恒吉)
委員	Link にわしろ (堀田)
委員	わくわくクラブ (宮崎、溝脇)
委員	ロバの子ハウス (越智)
委員	ぴーすの児童デイぽんた (上善)
委員	ペガサス療養通所介護 (藤田)
委員	ばあばといっしょ (小畑)
委員	ぴよんぴよん教室 (稲原)
委員	smile club (川田)
委員	あとむ (西尾)
委員	このこのアート (中谷)

3、年間計画案

4月	家族の実態を知るアンケート内容見直し
5月	家族の実態を知るアンケート作成、
6月	家族の実態を知るアンケート完成・配布・実施、
7月	家族の実態を知るアンケート回収
8月	
9月	家族の実態を知るアンケート集計
10月	データ分析 事業所向けアンケート作成
11月	事業所向けアンケート完成・実施
12月	事業所向けアンケート回収・集計
1月 2月 3月 のどこか	事業所向けアンケート集計結果をふまえてグループディスカッション

平成26年度 さかい障がい児放課後連絡会 収支予算書 (案)

(自 平成26年4月1日 ~ 至 平成27年3月31日)

(単位: 円)

収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	255,717	
年会費	195,000	1団体: 3,000円×65団体を想定
4月度研修(障がい特性の理解と支援)参加費	37,500	1名: 500円×75名参加を想定
5月度研修(問題行動について)参加費	37,500	1名: 500円×75名参加を想定
ホームページ作成時協賛費	30,000	1団体: 3,000円×10団体を想定
預金通帳利息	40	
合計	555,757	

支出の部

項目	金額	備考	
放課後連絡会 全体	事務消耗品費	5,000	領収書綴り・現金出納帳・コピー用紙・印鑑等
	資料作成費	5,000	印刷代等
	会場費	35,000	マイク・プロジェクター使用料、冷暖房代等含む
	研修講師謝礼・交通費	52,000	4月(10,000円)・5月(42,000円)に実施予定
	ホームページ管理費	25,000	・ホームページ維持費: 10,000円 ・ホームページ更新手数料: 15,000円
各委員会 活動費	事故・虐待防止委員会	30,000	事務経費・研修講師謝礼等
	研修委員会	100,000	研修会場費・事務経費・研修講師謝礼・イベント費等
	行政及び渉外委員会	19,000	研修会場費・研修講師謝礼等
	研究委員会	41,000	紙代・封筒代・印刷代・郵送代・返信用通信費等
予備費	243,757		
合計	555,757		